

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 31年 3月 11日

事業所名 療育センターもっこ

保護者等数(児童数)

回収数 8

割合 44%

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	7	1			屋内外の活動にて工夫されている。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	7			1	よくわからない。専門性は感じる。	
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	6			2		
適切な支援の提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	5	3			本人の特性、気を付けたこと等配慮されている。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	8				様々な活動を取り入れている。	
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	※実施の予定はありませんが、必要に応じて検討していきます。					
保護者への説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	8				変更時など連絡がありました。	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	4	4			月に一度の利用のため日頃からはできませんが、利用時にはできていると思う。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	4	4			活動の様子やアドバイスは詳しいです。	
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	※実施していませんが、必要に応じて検討していきます。					
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	3	2			3 他の保護者の意見を知る機会はないのが現状だと思ふ。	
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	1			いつも配慮されていると思ふ。	
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	※実施できていませんが、今後進めていきます。					
14 個人情報に十分注意しているか	6	1		1	写真に関しても注意されています。		
非常時等の対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	1	4	1	2	できていると思うがわからない。	周知できるようマニュアルを提示していく。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	※全員対象で実施できていませんが、引き続き安全に努めていきます。					
満足度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	8				いつもとても楽しみにしています。	
	18 事業所の支援に満足しているか	8				様々な体験をさせてもらい有難い。	

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:平成 31年 3月 11日

事業所名 療育センターももっこ

		チェック項目	はい	いいえ	わからない	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	1	2	1	活動グループを分散して空間を使用している。屋外活動も積極的に取り入れていく。
	2	職員の配置数は適切である	4			利用児数に応じて加配職員を配置している。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	1	利用児の姿に応じて環境設定を行う。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	1	2	1	意見等は都度共有するようにしている。会議等を活用し、職員個々の意見が反映できるような体制にしている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	2		面談の際には事業所への要望等をお聞きしている。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	1	2	1	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	1	3		法人内でサービス向上委員会を設けている。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4			研修希望等のヒヤリングを行い研修参加に繋げている。継続的な研修の場を確保できるよう計画する。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		行動観察、ご家族からのニーズを反映している。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	1	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4			活動のねらいを明確にしている。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3		1	ニーズに対応できるよう事業展開を考えていく。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	2	2		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4			活動立案を事前確認している。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4			
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4			
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3		1	月1回のため日程調整に気をつけている。	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1		3	ガイドラインに沿った支援となるようにしていく。	

関係機関 や保護者との 連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3		1	児童発達支援管理責任者が参加できるよう調整している。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	※現在、休業日のみの事業実施としているため該当なし。			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		3	1	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1		可能な限り、書面にて引き継ぎを行なっている。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	※小学生までの受け入れのため該当なし。			
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4			必要に応じて連絡調整を行なっている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		4		公共の場での活動は取り入れている。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1		3	法人内で参加している職員からの伝達により情報共有を行なっている。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4			来所時に個別で話をする場面を設定している。
保護者への 説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている		3	1	
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4			契約時に書面にて説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4			来所時に個別で話をする場面を設定している。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	2	2		プライバシーへ考慮しつつ、掲示板等を活用しながら情報発信を行っている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4			法人内に苦情解決委員会を設置し対応している。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している		3	1	活動の様子などは写真など提示して伝えている。
	35	個人情報に十分注意している	4			
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4			
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		3	1	同敷地内の行事等には参加できるようにしている。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	1	3	都度確認できるようマニュアルを掲示していく。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている		3	1 様々な非常時を想定し実施している。引き続き計画的に実施できるようにする。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		法人内の研修会へ積極的に参加している。職員総体として意識を高めていく。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	1	1 契約時に説明を行っている。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	2	ご家族への聞き取りにて確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	2	2	日々の振り返りの際に共有しているが、今後事例集の作成を行なっていく。